



秋といえば、スポーツの秋！食欲の秋！今年のさつまいも収穫は、園で野菜販売をして下さっている、ひだか農園さんの畑へ収穫にいきます。春に、つき組が苗植えも行っていました。どのくらい収穫ができるか楽しみです。

つき組は、おむすびこども園のお友だちと、サッカー交流試合があります。優勝トロフィーを目指し、大好きなサッカーを楽しんでもらいたいです。

【緊急時の対応について】

- ・震度5弱以上の地震が起こった時、水害による避難準備情報が発令された時は、連絡がなくてもお迎えをお願いいたします。園にいたことが危険と判断した場合は、二次避難先の「日本文理高等学校」へ避難をします。
- ・10月の避難訓練は、火災により二次避難先まで行く訓練を予定しています。
- ・11月の避難訓練は【引き渡し訓練】です。4月に提出していただいた「引き渡しカード」を使用し、お迎え時に記入をしていただきます。緊急連絡先に変更がある方は、必ずお知らせください。また、災害があった際の避難場所をご家族で話し合っておきましょう！

大切なわが子を映像付けにしない方法

電子ベビーシッターの危険性

乳幼児期はおとなしくて楽!! 小・中学生になると...

青年期以降は...



テレビ大好き

- ・受身で楽しませてもらうことが好き!
- ・強く新奇な刺激でも平気!
- ・自分で遊べない。



ゲーム好き



ひまー  
うざい  
つかれた-

- ・動くことは苦手。
- ・自分で考えることは苦手。
- ・強い刺激でも平気。



- ・働くことは苦手。
- ・コミュニケーションは苦手。
- ・経験が少ないから自分に自信がもてない。

子どもは本来、テレビを見なくても自分で遊びをつくりだす力をもっています。しかし、一方的に刺激や楽しさを与えてもらう環境で育つことで、自分で考えたり創造することが苦手になってしまう場合もあります。

テレビ中毒  
5つのチェックポイント

1. テレビを消すと泣く・いやがる。
2. テレビに映る子は好きだが、ほかの子どもに関心が少ない。
3. テレビ以外ではあまり笑わない。
4. テレビの言葉や遊びを繰り返す。
5. テレビには集中できるが、絵本には集中できない。

メディア・リテラシーの目安

0~3歳ごろまで

コミュニケーションの基礎が確立し、おしゃべりが上手にできるようになるまでは、直接、人とかわることを中心にしましょう。外遊びや手や体を使う遊びが必要です。映像視聴は1回20分までに。

幼児期

友達とのかかわりの中で、よいこと、悪いことを学習する時期です。テレビゲームよりも友達と体をぶつかり合わせて遊ぶことが大切です。テレビは親が番組を選んで見せましょう。



子どもがメディア機器に振り回されずに、道具として上手に使いこなせるようになるために、年齢に合わせて少しずつ、メディアとつきあう力を育てましょう。